

教育関係者

(敬称略)

役職	氏名
町長	辻一幸
議長	中居義正
教育長	佐野正昭
教育委員	江本たまき
教育委員	望月敏明
教育委員	本敏己
教育委員	久本雅俊

役職	氏名	備考
学校評議員	深沢 實	学識経験者
	早川和子	地域組織・団体関係者
	望月信子	地域組織・団体関係者
	上原佑貴	保護者

役職	氏名
会長	上原佑貴
副会長	アンティラ 美織
幹事	奥村恭子・小林初音
監査員	尾澤朋子
顧問	望月弘幸・丹沢伸也
1年	武昌子
2年	木内かおり
3年	三部一浩
4年	上原佑貴
5年	田邊津嵩
6年	奥村恭子

スクールバス

登校 奈良田 7:35 草塩 7:50
中州 7:49 保 7:53
黒桂 7:56

下校 学校 16:30
(11月~2月 16:10)



校舎・校地

種別	面積
校地	8,233.96 m ²
校舎	3,029.37 m ²
体育館	922.79 m ²
運動場	3,022.58 m ²

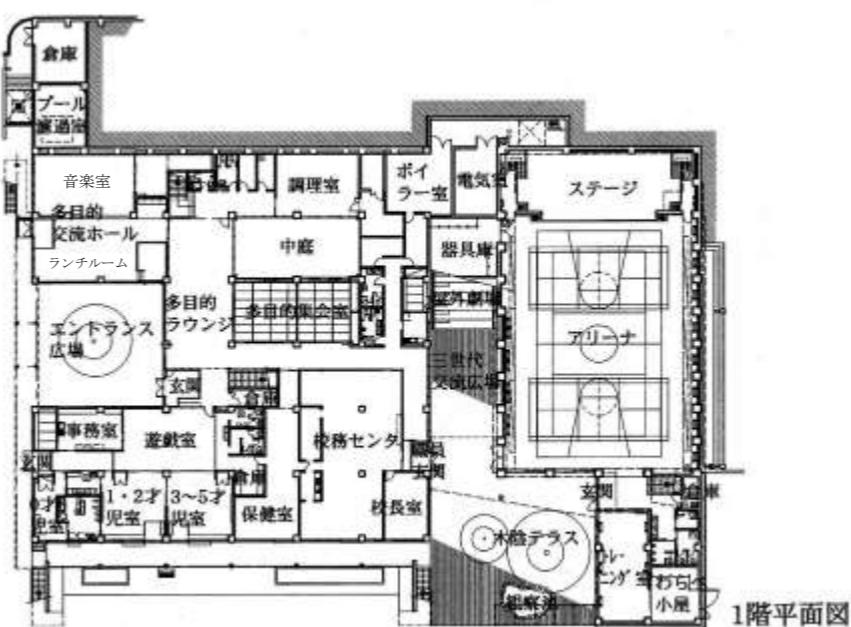
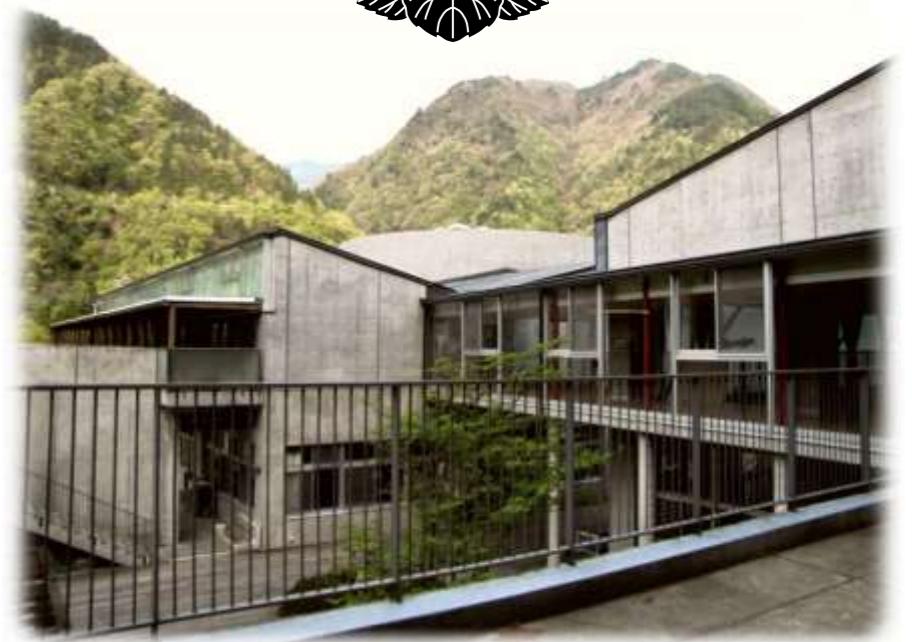
種別	室数
普通教室	6
調理室	1
図工・理科コーナー	2
音楽室	1
図書室	1
保健室	1
校務センター	1
校長室	1
放送室	1
屋内温水プール	1
用務員室	1
トイレ	6
倉庫	3
プレゼンテーションルーム	1
マルチメディア工房	1
多目的交流ホール	1
多目的集会室	1
屋内運動場	1

学校行事

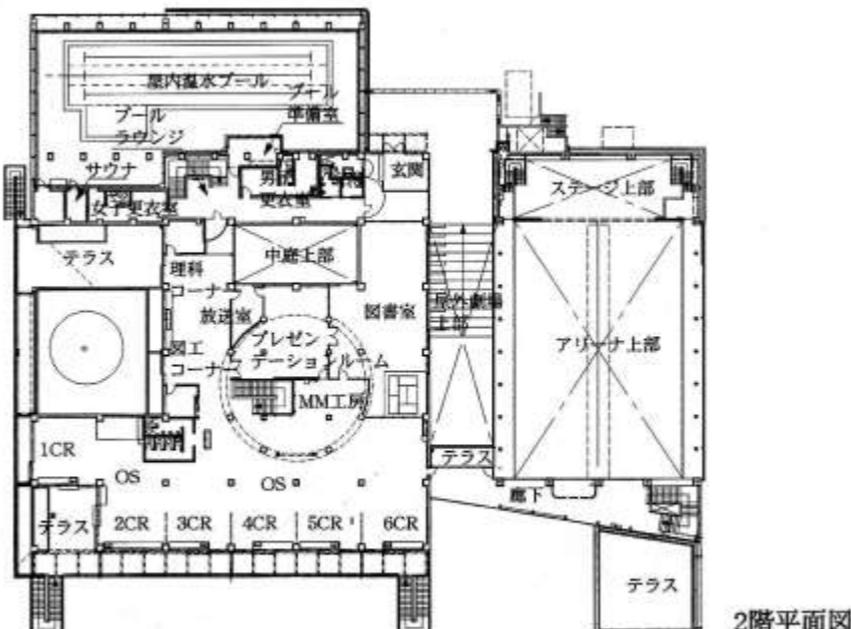
4月	新任式・1学期始業式・入学式/避難訓練/授業参観・PTA総会・歓迎会 全国学力学習状況調査/家庭訪問/児童総会
5月	田植え(品川交流)/新体力テスト/交通安全教室 南北小合同体育授業(陸上記録会)/6年修学旅行/1年給食センター見学
6月	3年町内めぐり/3年スーパー見学/4年峠南地域めぐり/田の草取り プール清掃・プール開き・水泳記録会/5年砂防ダム体験/引き渡し訓練
7月	演劇鑑賞教室/授業参観・救急法講習会・PTA学年部会/避難訓練 防犯教室/1学期終業式
8月	早川クリーン活動/2学期始業式
9月	プールじまい・水泳記録会/避難訓練/稲刈り(品川交流) /PTA親子活動 PTA親睦会/学校創立記念日/6年地図見学
10月	南北小交流会/わらべどんぐり祭り/全校遠足/2年サイボク・野鳥公園見学 3年消防署・警察署見学/5年社会科見学①
11月	町文化祭(民話劇)/給食試食会/避難訓練/お宝発見/5年社会科見学②
12月	図書集会/保健集会/個別懇談/南北小合同スケート教室/2学期終業式
1月	3学期始業式/南北小合同スキー教室/児童会役員選挙/4年硯匠庵見学
2月	一日入学/授業参観(BEANS発表会)・PTA学年部会・専門部会
3月	卒業証書授与式/修了式/離任式

令和2年度

学校要覧



1階平面図



2階平面図

早川町立早川北小学校

〒409-2704 山梨県南巨摩郡早川町大原野163

Tel.0556-20-5531/Fax.0556-20-5532

E-mail : ecole-32@hayakawa-kitasho.ed.jp

ホームページ : <http://www.hayakawa-kitasho.ed.jp/>

東経138度20分28秒 北緯35度27分10秒 標高477m

校歌	作曲詩	作詞
梅晴芳時	秋坂山	保坂
一、白根のみねの白雪が 青空高くかがやいて 若い希望をよんでいる ぼくもわたしも肩組んで 真理の道をすすもうよ	二、早川の瀧が渓々に 遠い歴史の湯の郷に あしたをひらく発電の 花をもみじをうつして ぼくもわたしも手をとつて 友情の輪をつなごうよ	三、
ふるさとの幸うたおうよ	創造の火がもえさかる 創造の火がもえさかる 創造の火がもえさかる 創造の火がもえさかる	

環境

本校は、早川と富士川の合流点から南アルプス公園線を西進北上約20kmの地点に位置する。本町は北部を南アルプス市の芦安に、東部は富士川町・身延町に接し、西部は静岡市に接する県にある。白根山系と櫛形山系に囲まれて急峻な山肌が眼前に迫る地形のため、水量が豊かで14の水力発電所を抱える発電のメッカでもある。観光資源としては南アルプス国立公園・県立巨摩自然公園等をバックに西山温泉、奈良田温泉等5ヶ所の温泉地と美しい渓谷がある。文化施設として町民会館をはじめキャンプ場・南アルプス岳野鳥公園や歴史民族資料館・南アルプス岳白旗史朗山岳写真館等が設置され、産業面ではハム工場等で特産品の加工をしている。また、「湯島の大杉」等の大木古木、歴史や芸術面での価値ある不動明王像・阿弥陀如来像等々が文化財として保存されている。

自然是豊かだが農林業従事者は極少数で公務員や会社員が多い。地域の人々は人情に厚く教育熱心である。社会情勢の変動と過疎化の激進・児童数激減のなかで西山・三里・都川三校の統合によって早川北小学校が誕生した。

沿革

	西山小学校	三里小学校	都川小学校
明10	西山地区に小学校教育始まる 明12	三里地区に小学校教育始まる 明07	都川小学校前身草塩学校創立
昭08	湯島尋常高等小学校を西山尋常 大06	新倉校舎を現在地に移転し大原 小学校と改称	都川尋常小学校として開校
昭13	奈良田尋常小学校と統合	野早川分教場を廃し茂倉分教場 を設置	六三制実施都川小学校と改称
昭22	六三制実施西山小学校と改称し 中学校を併設 昭31	町村合併により早川町立都川小学校と改称	創立100周年祭実施
昭31	町村合併により早川町立西山小学校と改称	学校と改称	3月14日都川小学校閉校式及び記念碑除幕式
	併設する	三里地区へき地集会所を校庭に併設する	

昭51.09.17 町議会において、西山・三里小中学校の統合を議決。
 昭52.03.31 西山・三里小学校閉校（3月22日）閉校式を挙行。
 昭52.04.01 早川町立早川北小学校として開校式を挙行。
 昭52.04.15 早川北小学校PTA発足。
 昭52.11.11 第1回わらべ祭り実施。
 昭53.03.24 第1回卒業式を挙行。卒業生14名。
 昭56.05.16 特別教室（家庭科・図工・らく焼教室）竣工式挙行。
 昭57.04.01 都川小学校の統合によりスクールバス3台により通学。
 昭57.08.02 台風10号早川町を通過、電話・電気・道路・その他未曾有の大被害を被る。
 昭57.08.23 西山地域通学路交通不能のため奈良田公民館、西山青少年の家を仮教場として、2学期始業式を行い平常授業を開始する。知事以下係官、町長、関係者多数訪問、児童を慰問激励される。
 昭57.10.16 西山青少年の家仮教場（9.19）閉鎖 奈良田教場（10.16）閉鎖。本校へ復帰、全校児童一堂に授業開始。
 昭57.12.15 PTA文部大臣表彰受賞。
 昭58.10 南巨摩文化協会連合会より地域文化継承活動推進校として表彰。
 昭59.01.10 校内スケートリンク開きを行い1ヶ月間スケート教室を開設する。
 昭60.10.15 こども銀行大臣大臣表彰受賞。
 昭61.10.08 全校鼓笛隊が編成され、固体炬火リレーに於いて歓迎演奏。
 昭61.11.17 金銭教育公開研究発表会を開催、全県下より参加者多数来校。
 昭61～ 周年減少により(61・62年度)3・4年、(63年度)1・2年、3・4年(平成元年度)1・2年、3・4年、5・6年複式学級となる。町費支弁講師にて解消。

平成元年度 町教育委・早教協センター校指定。研究公開発表会をする。平成2年度PTA・県PTAより表彰を受ける。
 平成6年度 早川町教育委員会、南へき連研究指定校。11月22日研究公開発表会。
 平成8年度 第1回全校スキー教室。
 平成9年度 國際文化交流会（11ヵ国、14名）、福祉コンサート、短作文活動定着発展。
 大雪による損傷修理（体育馆、校舎）、教員寮内装修理。

平成10年度 カヌー教室の実施、増築南小と文化交流、文部省指定「学校の情報化推進のためのネットワーク活用方法研究開発事業」研究指定（～平成12年度）。

平成11年度 校舎新築に伴いお別れ会を実施し、早川町民会館を仮校舎にする。

平成12年度 新校舎完成、入居式（13.2.25）、竣工式（13.3.22）を行う。

平成13年度 へき地学校等のためのIT活用方法研究開発事業の実践研究校。山梨県アクティブ体力づくり地域実践推進校（～H15）

平成14年度 校庭整備、スナッグゴルフジャパンよりゴルフ用具一式寄贈される。

平成15年度 道教委・早教協センター校として指定を受け、公開研究発表を行う。

平成16年度 勤労生産実習推進校の指定を受ける。

平成17年度 心に元気をはぐくむ道徳研究の公開研究発表を行う。

平成18年度 創立30周年。わらべどんぐり祭りでの民話劇発表を通じた地域振興活動に対して、団体奨励賞受賞。

平成19年度 長年にわたるフィットネスクラブなどの活動が認められ、全国学校体育優良校として山梨県で唯一表彰される。

平成20年度 県開催全国へき地教育研究大会で公開研究発表。全日本小学生ゴルフトーナメントスナッグゴルフの部で全国4位。

平成21年度 小学生ゴルフトーナメントスナッグゴルフの部、関東甲信越予選優勝、準優勝獲得、全国大会に出場。

平成22年度 スナッグゴルフ関東甲信越大会3連覇達成。

平成23年度 「民放ラジオ統一キャンペーンラジオがやってくる」で民話朗読が放送される（FM富士）。いなか暮らしの本に本校山村留学が掲載される。早教協センター校として指定を受け、公開研究発表を行う。

平成24年度 わらべどんぐり祭の児童創作民話劇40周年。田舎暮らしセミナー等の取り組みにより山村留学生増。

平成25年度 2年ぶりに入学式を挙行。新入生3名、山村留学生3名と2学期からの山村留学生1名を迎える全校児童19名となる。

平成26年度 タブレット端末（iPad mini）を4・5・6年に一人1台導入。無線LANも整備し、実践を開始。

平成27年度 新入生がなく、入学式ができなかったが、2学期途中で1年生に山村留学生を迎え、6学年が揃う。

平成28年度 自然体験学習BEANS始まる。

平成29年度 町の義務教育費無償化の施策について、TBS「NEWS23」で取材を受け、放映される。

平成30年度 NIEの研究指定を受ける。エアコンを全教室に設置。

令和元年度 山梨県青少年赤十字活動の研究指定を受ける。山村留学制度について、NHKの取材を受け、全国放送される。

学校経営方針

学校教育目標

『自ら学ぶ明るくたくましい子どもの育成』

- (1) 自分の考えをもち、進んで学習する子ども
- (2) 明るく思いやりのある子ども
- (3) 体力と気力のある子ども

教育の方針

- (1) 確かな学力を育成するために創意ある教育課程の編成と実施に努める。
- (2) 地域の自然や文化を生かした特色ある学校教育をすすめる。
- (3) 教職員全員の努力と協力によって創造的な学校づくりをすすめる。

今年度の重点項目

- (1) 学力の向上を図る
 - ①授業の工夫改善 ②基礎学力の定着 ③学習状況の可視化
- (2) 豊かな感性を育てる
 - ①表現力の向上 ②感性の育成 ③目・耳・口・体
- (3) 体力向上の基礎を培う
 - ①体力の向上 ②弱点の克服
- (4) 地域や家庭の教育力を活用する
 - ①地域 ②野鳥公園 ③保護者
- (5) 自治的な集団活動を展開する
 - ①自治的態度の育成
- (6) 安心・安全な環境整備・教育に努める
 - ①危険予知能力・危険回避能力育成 ②防災体制の整備 ③学校開放
- (7) 新学習指導要領完全実施による教育課程編成
- (8) 研究指定校への取り組み

教育研究室

研究主題

主体的・対話的に学び合う子どもの育成

～「気づき 考え 実行する」活動を通して～

研究目標

道徳や各教科、学校教育活動の中に「気づき 考え 実行する」活動を取り入れることで、主体的・対話的に学び合い、生き生きと活動する児童を育成することができることを、実践を通して明らかにする。

研究内容

- (1) 「特別の教科 道徳」の授業づくり・実践
 - ・児童の実態把握と分析
 - ・児童が意欲、興味をもつことができるような課題、教材、題材等の提示
 - ・課題に対し、自ら解決をしたと達成感をもつことができるような学習過程
 - ・板書の工夫、対話の取り入れ方、評価の研究
- (2) 「気づき 考え 実行する」活動の充実を支えるための手立て
 - ・青少年赤十字活動の充実
 - ・NIEを取り入れたり、言語活動の充実などを図ったりし、主体的・対話的な学び合いの姿勢を身に付ける。
 - ・学年それぞれの実態や発達段階に沿っためざす児童の姿を明らかにし、取り組み方法を交流する。
 - ・家庭学習の定着・充実

月	研究計画																	
学年	性別		計	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	道徳	外國語活動・外國語	総合	特別活動	計	
	男	女																
1	0	2	2	306		136		102	68	68		102	34		34	850		
2	3	0	3	315		175		105	70	70		105	35		35	910		
3	1	3	4	245	70	175	90	60	60		105	35	35	70	35	980		
4	1	0	1	245	90	175	105	60	60		105	35	35	70	35	1015		
5	3	2	5	175	100	175	105	50	50	60	90	35	70	70	35	1015		
6	1	1	2	175	105	175	105	50	50	55	90	35	70	70	35	1015		
計	9	8	17	1461	365	1011	405	207	358	358	115	597	209	70	140	280	209	
																	5785	

職員組織

職名	氏名	在職	担任	校務分掌
校長	丹沢 伸也	1		校務全般
教頭	小林 初音	2		校務補佐・PTA
教諭	志村 美紗生	1	1年	図書館主任
教諭	望月 真理	2	2・3年	教務主任・情報主任・音楽主任
教諭	深澤 初也	1	3	